



# 工高タイムス

北海道旭川工業  
高等学校新聞局  
〒078-8804  
北海道旭川市緑が丘  
東4条1丁目1-1  
発行人 (局長)  
佐々木 晃成  
(電気科3年)

## 工高祭 応援号4

# クラスステージ 盛り上がる会場



電気科3年

ファンサービスをする電気科の3年生

## 建築3年 クラス全員が出演



マッスルポーズをとる建築科の3年生

建築科3年生はクラス全員が出演し、東京ディズニーランドのテーマ曲である「ジャンボリーミッキー」とフレデリックの「オドループ」のダンスを披露した。男子3人がダンベルを持ち、大旗を振ったりした。リーダーの高島開成君は「ダンスの時は振り付けを間違えないようにしながら、楽しそうに踊ることを特に意識した。全力で踊り切ったのでとても楽しく達成感があった」と話した。

由利快翔君は「思ったよりも視線が熱かった。観客の人に笑ってもらえるように全力で踊った。最後の工高祭にふさわしい良い思い出になった」と話した。

## 「アローラ」を熱唱

電気科3年生は10人で出演し、「ポケッタモンスター」の寸劇を披露した。劇の内容はポケモンバトルを再現して最後はポケモンのオープニング曲の「アローラ」を歌った。ポケモン役を人に演じさせたり、小道具を自分たちで作ったりと工夫した。

サトシ役の佐々木晃成君は「緊張したが実際にステージの上で演じたり、歌ったりしてみると会場が盛り上がったので終わったときはすごく達成感があった。歌っている時に観客が合いの手をしてくれたのでうれしかった」と話した。

ピカチュウ役の平田大騎君は「今まで人前に出て演じることがなかったので貴重な経験だった。本番中は観客に対して手を振った。最初は嫌だなと思ったが、実際にやってみるとすごく楽しかったのでやって良かった」と話した。

## 機械3年

# ギャップを意識



筋肉を見せる電子機械科

電子機械科3年生は7人で出演し、FRUIT'S ZIPPERの「わたしの一番かわいいところ」のダンスを披露した。出場したのは全員男子で筋肉を見せるためにタンクトップを着用した。かわいい曲とのギャップを意識したという。

リーダーの高木風吹君は「観客に筋肉を見せるので、メンバー全員はダンス練習の他に筋肉トレーニングもした。入場の際に観客が盛り上げてくれたので良かった」と話した。

小川颯太君は「昨年よりも難しいダンスに挑戦したのでたくさん練習した。会場が盛り上がったので達成感があった。3年連続で出場したので今年は集大成だ」と話した。

## 情報2年

# 「唱」を踊る



センターで全力で踊る片倉誠一郎君(情2)

情報技術科2年生 振り付けが全体的には5人でadoの「唱」を踊った。工高祭の5日前から練習を始め、毎日2時間練習を行なった。

「唱」は有名な曲なので皆知っていて、盛り上がると思いつめたという。

リーダーの栗林航雅君は「本番近くには毎日、放課後に皆で残って練習をした。自分か選ばれた。ソロパートは体力面がきつくなってきたが楽しかった。ステージの上で皆で踊れたのもうれしかった。昨年も出場したので今年も出場した」と話した。

## 土木2年

# 顔も手も金色に



全身金色タイツの土木科をしやすいからだ。

土木科2年生は5人でDAPUMPの「U.S.A.」を全身が金色のタイツを着て踊った。毎日30分少しずつ練習し、本番の前日は全部通して踊った。「U.S.A.」に合わせた踊りやすく掛け声「しい」と話した。

松浦一輝君は「クラスの全員が掛け声をしてくれてうれしかった。衣装は金色の全身タイツにすればインパクトが強いと思って決めた。顔も手も金色に塗った。昨年はクラスステージに出て1位になれず悔しいと思い、今年こそ勝ちたいと思いで参加した。優勝できてうれしかった」と話した。

## 工化1年

# ダンスをかわいく



コスプレを披露

工業化学科1年生は8人で出演し、「あいらDX」の「しなこワールド」、ILLITの「Magnetic」、エド・シーランの「Shape of You」、薫と友樹、たまにムック。の「マル・マル・モリ・モリ」を踊った。メンバーはチャイナ服やピンク色の制服、着ぐるみなどを着た。

リーダーの加藤月星さんは「最初はリーダーとしてみんなをまとめられるか心配だった。練習を重ねていくうちにチームにまとまりが出てきて、本番では無事踊り切ることができて良かった」と話した。

高松優太君は「あまりうまくいくとは思っていなかったが、本番はものすごく盛り上がったので良かった。ダンスをかわいく見せるために動きや表情を工夫した」と話した。